

# Château BADETTE

GRAND CRU CLASSÉ  
SAINT EMILION GRAND CRU



Famille Vandenbogaerde

## ヴィンヤード



### 土壌

石灰粘土質, 砂の多い粘土,  
砂・粘土



### 垣根栽培

機械式



性フェロモン作用の利  
用



平均密度  
7,000 株 /ha



平均齢  
25 年

## 特長

葡萄品種: メルロ 67%、カベルネ・フラン 28%、プティ・ヴェルド 5%。

私たちの実践: 除草剤不使用、合理的農業、緑肥と永続的な草の被覆、葉の間引き、グリーン・ハーヴェスト。

## 収穫



籠を使った手摘み

果実の選別: 糖度計, 手動

## 特長

500 リットルの樽と小さなステンレス・タンクで区画ごとに醸造。45 日間の 醗酵後、低温マセラシオン。

総生産量: 40,000 60,000 本。

### 栽培品種:

- Château Badette
- La Fleur de Badette
- Le Grand Monsieur Badette



## 物件のご紹介



### アペラシオン

Saint-Émilion Grand Cru



### エリア

10 ha



### 私たちの価値観

High Environmental Value (HVE)

## クルー

M. Arnaud Vandenbogaerde  
所有者

M. Jean Philippe Fort  
ワイン醸造技術者

M. Mathieu Richard  
テクニカル・ディレクター

## アペラシオン

Saint-Émilion Grand Cru  
Grand Cru Classé de Saint-Émilion

## アサンブラージュ

Merlot : 80 %  
Cabernet franc : 15 %  
Petit Verdot : 5 %

## 当社の樽熟成

70 %新樽、30 %1年樽

収量: 53 hl/ha

生産量: 25 000 本

## 技術データ

アルコール含有量: 15.5 %  
ピーエッチ: 3.52  
全酸性: 3.92 g/L

## テイastingノート

シャトー・バデット 2022 は、表情豊かなアロマで幕を開けます。コンポートしたブラックチェリー、フレッシュなカシス、小さな青い果実の香りに、ダークチョコレート、リコリス、ブロンダタバコ、やさしいスパイスのニュアンスが重なります。全体はエレガントで精緻、そして美しい香りの強さを備えています。

口当たりはフレッシュさとバランスの良さが魅力です。ジューシーで果肉感のある果実味（グリオットチェリー、ブラックベリー、ブルーベリー）が広がり、ほのかな酸とミネラルの骨格に支えられています。ミントやスパイスのニュアンスが全体に躍動感を与え、表情豊かで生き生きとした印象をもたらします。

タンニンはしなやかで熟しており、硬さのない美しい構造を形成しています。余韻は長く、わずかにリコリスのニュアンスを伴い、今後の熟成ポテンシャルを感じさせます。グルマンでフレッシュ、かつ洗練されたワインで、若いうちから楽しめますが、長期熟成にも期待できる一本です。

## 🌤️ 気象データ

2022年ヴィンテージは記録的な暑さ、干ばつ、日照という異常気象に見舞われた。乾燥した冬と数回の春の霜の後、ブドウの木は5月の暖かく乾燥した月の恩恵を受けた。6月の降雨は、灼熱の夏に対応するために不可欠で、小粒で凝縮した健康なブドウを実らせた。収穫は衛生的な圧力をかけずに行われ、各品種のブドウを最適な熟度で収穫することができた。赤ワインは力強く、エレガントでフレッシュ、肉付きがよくバランスのとれたメルロとカベルネ・フランが輝きと緊張感を添えている。



評価点： 95 JEB DUNNUCK

シャトー・バデット 2022 は、濃く深い色調を持ち、メルロー67%、カベルネ・フラン30%、残りをプティ・ヴェルドで構成され、約3分の2を新樽で熟成しています。力強く、凝縮感があり、フルボディのスタイルで、熟したブラックチェリー、ブラックベリー、スモーキーなタバコ、グラファイト、砕けた石を思わせる素晴らしい香りが広がります。全体のバランスが非常に魅力的です。よりモダンなスタイルのサンテミリオンですが、ミネラル感にしっかりと支えられており、若さの「厚み」が落ち着くまでに5~7年を要し、その後20年にわたり優雅に熟成していくでしょう。

94-95 JAMES SUCKLING.COM

果実味と力強さが豊かで、ブラックベリー、チョコレート、ナッツのニュアンスが感じられます。フルボディながら、引き締まりと凝縮感を保っています。余韻は肉厚でやや力強く、長く続きます。

94 THE WINE CELLAR INSIDER

香りには樽のニュアンスが感じられるため、デキャンタで少し空気に触れさせるか時間を置くことで、豊かで寛大な果実味が開き、チョコレートを思わせるプラム、リコリス、ブラックチェリーの層が中盤から余韻にかけて現れます。確かにこのワインは豊かで力強く、享乐的なスタイルですが、同時にフレッシュでクリーミー、そして長い余韻を持っています。飲み頃は2026年から2045年。

93 Decanter

熟したプラム、ブドウ、カシスの果実香に、バニラ、バラ、ダークチョコレートのニュアンスが重なります。甘く熟した黒系果実と高い酸が出会い、口中では質感と風味が軽く行き来するような印象を与えます。ワインはかなり力強く、広がりのある構造としっかりした力強いタンニンを備えています。アルコール度数15.5%にもかかわらずフレッシュさと軽やかさを保っています。余韻にはトースト、リコリス、アニスのニュアンスが現れます。開けるには、もう数年待つことをおすすめします。

